

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	施設管理費(簡易水道事業)			
担当課係名	業務課	業務係	作成者	浅利喜一郎
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ 75
	基本計画	水道の安定供給と施設の整備		
	主要施策	施設の維持管理		
予算費目	簡易水道事業特別会計	1款 総務費	1項 総務管理費	2目 簡易水道施設管理費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input checked="" type="checkbox"/> 公共事業	<input type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	-			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託(全部)	<input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	簡易水道区域内の給水対象者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	安全で安定した良質の水道水を供給する
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	安全で安定した良質の水道水を供給するための施設の維持管理

【事務事業の推移】

効果	活動指標	項目	単位	23年度実績		
			目標	実績	達成度	
効果	施設数(8施設)	目標	千円	31,919		
		実績	千円	29,895		
		達成度	%	93.7%		
	成果指標	管理費/8施設	目標	千円	3,990	
			実績	千円	3,737	
			達成度	%	93.7%	
投下コスト	項目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)		31,319	29,895		
	人件費(B)		—	0		
	職員数		—	0.00		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	29,895		
	財源内訳	国庫支出金		0	0	
		県支出金		0	0	
		地方債		0	0	
		その他		0	0	
		一般財源		31,319	29,895	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	1,000		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,005		

【事務事業の今までの成果】

安全で美味しい水を供給するため、水質調査等により水質には万全を期し、推移している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	原発事故以来、放射性物質の検査を実施
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	水道水に放射性物質が含まれていないかという問い合わせ有り

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	水質等で特に問題もなく、放射性物質検査も嫉視しているため、A判定とした。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	安全で良質な水を供給するためには必要な事業であり、今後も水質等に細心の注意をはかり継続していくべきと考えます。

一次評価診断図

